QUARTERLY REPORT OF JAPAN HEART FOUNDATION

平成24年9月10日（月） 通巻208号

心臓財団 季報

● 公益財団法人 日本心臓財団 ●

〒163-0704 東京都新宿区西新宿2-7-1 小田急第一生命ビル4階

○ Tel 03-5324-0810 ○ Fax 03-5324-0822 ○ e-mail:info@jhf.or.jp ○ http://www.jhf.or.jp/

No.208

September 10, 2012

平成24年度日本心臓財団研究奨励募集

明日を担う若手研究者を対象に、心臓血管病（心臓病、脳卒中、高血圧、動脈硬化症等）の成因、治療あるいは予防に関する独創的研究に対し助成を行います。基礎研究者および女性を対象とした入澤宏・彩記念研究奨励金の助成も行っています。

1．研究奨励金および応募資格

(1) A 第38回日本心臓財団研究奨励

1件200万円を10件。

わが国に在住し、心臓血管病の基礎、臨床または予防に携わる1972年4月1日以降に生まれた者。

B 第3回日本心臓財団入澤宏・彩記念研究奨励

1件100万円を3件。

Aの応募対象者のうち基礎研究室に所属する研究者。

C 第3回日本心臓財団入澤宏・彩記念女性研究奨励

100万円を1件。

Aの応募対象者のうち女性研究者。

(2)第10回日本心臓財団若年研究者研究奨励(藤基金)

1件50万円を4件。

わが国に在住し、心臓血管病の基礎、臨床または予防に携わる1982年4月1日以降に生まれた将来性のある若手研究者。

（本若年研究者研究奨励は今回をもって終了します。）

なお、応募はひとり1件に限ります。対象に選ばれた人は、同一の研究奨励に再度応募できません。

2．応募方法・期間

当財団HPより応募用紙をダウンロードし、必要事項を記載して事務局宛送付してください。10月15日締切り。

第26回日本心臓財団・バイエル薬品海外留学助成募集

日本心臓財団では、バイエル薬品株式会社の協力を得て、循環器領域の少壮研究者が海外の研究機関等に留学し、独創性のある研究や萌芽的な研究を行う場合の渡航費ならびに滞在費の一部を補助するための海外留学助成を実施しています。

1．助成対象

心臓病・脳卒中・高血圧・動脈硬化症等の循環器領域の研究に携わる研究者

2．助成額

1件300万円とし原則として10件

3．応募資格

次の事項のすべてに適合する者

1) 初めての海外留学であること

2) 1973年4月1日以降生まれで日本に在住であること

3) 1年以上留学すること

4) 留学先研究機関の責任者または受入者の承諾を得ていること

5) 一定の研究業績を有すること

6) 2013年4月1日～2014年3月31日の間に出発の予定であること

4．応募方法・期間

当財団HPより応募用紙をダウンロードし、必要事項を記載して事務局宛送付してください。10月1日より受付、11月30日締切り（消印有効）

2012年　健康ハートの日

日本心臓財団が提唱する8月10日を「健康ハートの日」とした催しが財団主催で東京で、また、賛同いただいている豊橋、名古屋、岐阜の各地で今年も開催され、多くの市民の方々にお集まりいただきました。東京は8月5日に、その他の各地は8月10日に行われました。

ハートの日・健康フェア@東京・新宿高島屋

平成24年8月5日（日曜日）が、今年の日本心臓財団が開催する「健康ハートの日」イベントの日でした。毎年「健康ハートの日」は心臓財団と市民、そして医療関係の皆さんがお互いを肌で感じながら、交流を深めあっていくという貴重な機会になっています。

今年の会場は新宿高島屋1階の特設会場でした。デパートに買い物にきて看板を見、立ち寄ったという人もありましたが、財団の賛助会員として案内があったという人、新聞などの記事をみてきたという人、案内を受けた日本心臓ペースメーカー友の会の会員の方々なども多く来られました。何人もの人たちが数年来の検査データを持参したり、治療についてのセカンドオピニオンを求めてこられました。内容的には、整形外科的な相談があったり、希望する検査のための手順とか、痛風や糖尿病など、健康管理一般についての相談も多くありました。相談を受ける側もゆっくりと時間をかけて、一つ一つに丁寧に回答してくれていたように見えました。質問の内容が深まってきている、という見方もあったようでした。AED講習会もまた、「救える命を救うことができる」人を育てるための種を蒔いてくれたと思います。

ご参加いただいた皆さんには心からお礼を申し上げます。心地よい楽しさの中で、夜はぐっすり眠って、自らの健康ハートを維持し、市民の健康ハートのために、一層、頑張ってほしいと思います。

杉本　恒明（日本心臓財団顧問）

第13回ハートの日@豊橋・ホテル日航豊橋

最近心臓のみならずがんや免疫疾患等の疾病と健康への関心が高まりを見せる中、今年は「免疫と健康」に焦点をあて行われました。

午前中に開催された健康診断では約900名が受診され、同時開催の心臓病相談室や歯周病相談、栄養相談にも積極的に参加していただきました。またAEDの使い方と救急蘇生法講習会では、東三河地区の救急隊に講師としてご協力いただき、200名以上が参加されました。

午後は、講演会を2題、「笑いと免疫」について豊橋市内の西田メディカルクリニックの西田元彦院長から、また新潟大学の安保徹先生から「健康に生きるための免疫生活」と題した講演をいただきました。さらにその後の座談会には両名の先生方に豊橋ハートセンターの鈴木孝彦院長と松原徹夫副院長が加わり、参加者の日頃お困りのことや、病気に関するご質問にお答えする形で行われました。

第４回ハートの日@名古屋・名古屋国際会議場

今年の名古屋ハートの日は来場者数1113名でした。

まずは名古屋ハートセンター循環器診療部長鈴木頼快先生より「急性心筋梗塞の患者さまの命を守る救急隊と医師の連携」について、つづいて心臓血管外科部長北村英樹先生より「お年寄りに優しい低侵襲心臓手術」と題した講演をいただきました。両講演内容とも参加者の方々に非常に関心のある話題であり、真剣に聴いていただけました。

講演後は1時間ほど会場ロビーで大川育秀院長、鈴木部長、北村部長による健康相談会が実施されました。

つづいてロビーで「新しい心肺蘇生法」と題した講習会が行われた一方、ホール内での今年のハートコンサートは「クラリネット奏者熱田敬一と愉快な仲間たち　日米親善」として名古屋フィルハーモニー関係者65名による演奏が行われました。

コンサートの後は講演会第二部、愛知県健康づくり振興事業団の石川裕哲先生の講演「足腰をしっかり保ち、寝込まず元気に」と西川右近さんと外山淳治先生の対談で、会場は最後まで盛り上がっていました。

第４回ハートの日 in GIFU @岐阜・県民ふれあい福寿会館

第4回ハートの日in GIFUでは「食事」と「健康」の側面から「メタボリックシンドロームへの挑戦」をテーマに健康イベントと講演会が行われました。

健康イベントでは参加者に体験してもらえる「栄養教室」と「運動教室」を開催。「栄養教室」では岐阜ハートセンターの佐藤歩美管理栄養士に糖質制限食についての説明や試食会を行っていただきました。また「健康教室」では東京大学の工藤麻衣子先生の指導の下「スロートレーニング」法を説明していただき、参加者に実体験してもらいました。

夕方までの健康イベント終了後は豊橋市在住のバイオリン奏者藤城朋子さんによる「ハートときめきクラシック」と題したコンサートを開いていただきました。

ハート講演会では健康イベントで体験した内容をもう少し詳しく理解してもらうために、同じ「食事」面から糖質制限食で高名な京都の高雄病院江部康二理事長に、「運動」面からスロトレの第一人者である東京大学石井直方先生にそれぞれご講演いただき、最後に岐阜ハートセンターの上野勝己院長と本江純子先生を加えて討論いただきました。

健康イベントには356名、コンサートおよび講演会への参加者は315名を数えました。

全国で PUSH 運動

日本心臓財団は、誰もが簡単に胸骨圧迫とAEDを覚えることができる救命講習を全国に拡げることを目的としたPUSH（プッシュ）プロジェクトの推進を応援しています。

今回8月10日の健康ハートの日にちなみ、8月5日（日）を中心とした前後の日にちで全国23ヶ所で一斉に講習会を行う第4回「全国でPUSH運動」が開催されました。

プロジェクトの中心となる石見拓先生は4日（土）に開かれた金沢の会場に参加。100名を超えるサッカー少年たちに心臓マッサージとAEDの使い方を指導し、同時に子供の頃から命の大切さを知ってもらう意味のある大会になりました。PUSH会場は全国北海道から九州にまでおよび、勇気があれば心肺蘇生に挑めることを子供たちから大人へ、大人からご近所へと、世代を超えて全国に拡がりつつあることがわかります。

ご支援ありがとうございます

本年度も賛助会員としてご支援をいただいた方のご芳名を掲載します。（敬称略：2012年5月～8月）

浅井　徹	上嶋　健治	河合　忠一	甲谷　哲郎	鈴木　一夫	戸嶋　裕徳	東崎 喜代乃	村田　勝敬
足達　寿	上田　一雄	河北　俊子	小島　章	鈴木　常雄	富永　隆治	樋口　公啓	村山　正博
新　博次	梅村　敏	川島　崇	児玉　和紀	須藤　英仁	豊嶋　英明	日和田 邦男	望月　茂
阿部　倫明	浦　信行	川島　康宏	児玉　安司	須磨　幸蔵	長澤　一成	深沢　和浩	望月　正武
有坂　實	遠藤　政夫	川田　志明	後藤　京子	住吉　昭信	中野　赳	柊山 幸志郎	百村　伸一
有田　眞	大川 眞一郎	川名　正敏	後藤　紘司	清野　精彦	中村　真潮	福井　正	森河　裕子
飯村　攻	大澤　英夫	河村 慧四郎	近藤　高明	千田　彰一	永山　雅之	福田　恵一	矢﨑　義雄
池田　孝之	大島　文雄	川村　晃久	金野　秀美	髙木　宏	西村　重敬	福田　宏嗣	安井　健二
石井　當男	大村 外志隆	上松瀬 勝男	齋藤　綾	高田　重男	仁村　泰治	福田 孝太郎	安井　昭二
石川　幸治	大和田 憲司	菊池 健次郎	齋藤　重幸	髙野　照夫	丹羽　明博	細田　瑳一	矢内　正男
石川　雄一	岡田 幾太郎	岸田　浩	坂田　隆造	高松　道生	庭野　慎一	細野　清士	矢永　尚士
石坂　信和	小川　聡	北川　泰久	坂本　三哉	髙安　徹雄	沼口 宏太郎	本荘　晴朗	山内　一信
石橋　俊	小川　勝	北畠　顕	朔　啓二郎	竹越　襄	野村　雅則	前村　浩二	山崎　力
和泉　徹	奥村　謙	北村 惣一郎	篠山　重威	武田　信彬	橋場　邦武	真下　延男	山下　武志
磯　博康	奥村　健二	鬼頭　由里	佐田　政隆	田島　郁文	旗野　脩一	松浦　秀夫	山科　章
磯山　正男	小澤　利男	木之下 正彦	佐藤　和徳	田中　義	馬場　俊六	松浦 雄一郎	山田　和生
市川　悦	小野　高史	木原　康樹	猿木　和久	田中　弘允	濱崎　秀一	松岡　博昭	山村　憲
市田　蕗子	小野　稔	木村　彰方	猿田　享男	田中　元直	早川　弘一	松永　正人	山本　一博
伊藤　七郎	尾前　照雄	木村　和雄	島田　和幸	樗木　晶子	林　秀晴	松本　万夫	家森　幸男
伊藤　隆之	尾本　良三	木村 玄次郎	清水　昭彦	塚本　宏	林　直彦	三浦　傳	吉永　正夫
猪又　孝元	海宝　雄人	清原　裕	庄田　隆	月岡　開夫	早野　元信	水嶋　春朔	葭山　稔
今泉　勉	片見　初江	楠岡　英雄	白井　豊	堤　明純	原岡　昭一	皆越　眞一	渡辺　務
今泉　友一	加藤　正明	楠川　禮造	白土　邦男	鶴谷　嘉武	半田 俊之介	宮垣　武司	
今村　聡	金丸　憲司	倉林　正彦	杉澤　和美	土居　義典	比江嶋 一昌	宮田　昌明	
岩　喬	加納　達二	桑原　龍雄	杉本　恒明	道場　信孝	東　あかね	村田　和彦	他匿名26名

当財団へのご寄付

次の方からご寄付を頂戴しました。ここにご芳名を記して感謝の意を表します。（敬称略　2012年5月～2011年8月）

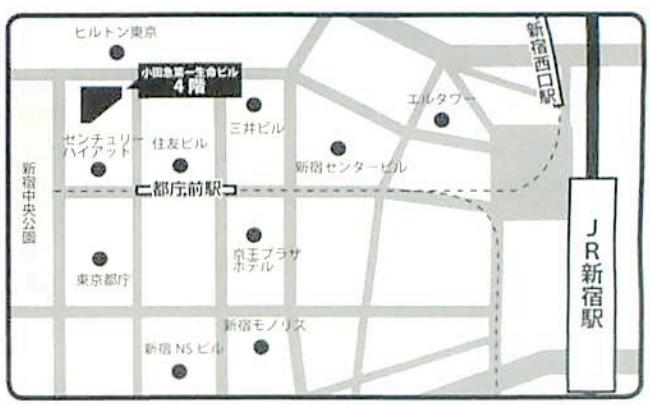
(株)池野商店	東京都港区	300,000円	嶋田　裕	千葉県千葉市	100,000円
窪田 和巳	東京都千代田区	5,000円	佐藤 裕子	神奈川県横浜市	5,000円
群馬県医師信用組合	群馬県前橋市	1,000,000円	SMBC日興証券(株)	東京都千代田区	100,000円
匿名		20,999円	【AED普及事業】		
中尾 健一	千葉県柏市	5,000円	匿名		1,000円
佐川　清	茨城県常陸太田市	10,000円	匿名		3,000円

●心臓財団からのお願い●

～ご寄付ならびに賛助会ご加入～

当財団が循環器疾患の予防・制圧事業を展開するうえで、その多くは寄付金ならびに賛助会費により支えられております。あなたのまわりの方にもぜひ呼びかけてください。ご寄付はいくらでも受けさせていただいております。当財団は「公益財団法人」として認定を受けておりますので、税制上の優遇措置が講じられております。ご支援いただける場合は、下記の口座をご利用ください。

ゆうちょ銀行一般振替口座00140-3-173597
宛て先　公益財団法人日本心臓団



●医療関係者の皆さんに会議室を無料提供しています。●
（詳細は事務局までお尋ねください）